



村小だより

平成29年7月24日発行

確かな成長を 共に称えて

校長 鈴木 正美

子どもたちの成長を実感する1学期が終了しました。特に1年生の姿は、入学当初とは別人のように村上小の立派な一員になったことを物語っています。併せて、卒業生からリーダーを引き継いだ6年生も意欲的に全校を導く姿を多くの場面で見せてくれています。ともに心強く感じるばかりです。また、5年生までの子どもたちも、注意を素直に聞き入れ、わがまを言わないで活動しようと、とても立派でした。

この間、計画した教育を順調に進めることができました。それも保護者、地域の皆様からのご理解とご協力のおかげと、心から感謝申し上げます。

本日の終業式では、教育目標にかかわる「全校でがんばってほしいこと（3つ）」（4/13発行村小だよりに掲載）の評価や夏休みの生活について、次のような話をいたしました。

全校としての1学期の成績を発表します。今回は、学級担任の先生方(13人)の判断をまとめたものです。自分の学級で「合格(できている)である子どもの人数」を聞いて、その合計で表しました(人数と100点満点で表した点数)。自分のことを振り返りながら、見ていてください。

○1つ目の「人のお世話にならぬよう」は、264人中、236人が合格(89点)

○2つ目の「人のお世話をするよう」は、264人中、243人が合格(92点)

○3つ目の「そして、むくいを求めぬよう」は、264人中、231人が合格(87点)

合格まで「もう少し」の人もいますが、全体としては、合格ラインを突破した人がたくさんいて、とてもすばらしいと思います。

さて、明日から夏休みです。楽しく、がんばった思い出がいっぱいできるように、心がけてほしい大事なことをお話しします。

1つ目は、お家の人と相談して計画を立てて、学校やお家の約束を守り、規則正しい生活を送ることがとても大切です。

2つ目は、自分の安全は自分で守るということです。毎年、多くの子どもたちが事故に合っ、悲しませています。その中に、事故に合おうと思っていた人は一人もいません。「車道への急な飛び出し」は特に危険です。「左右の確認」が特に重要です。身の回りの危険に十分注意を払って生活することがとても大切です。

7月25日(火)～8月27日(日)まで、夏休みになります。安全で楽しい休みになりますよう、引き続き、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いします。

お祭りも事故なく終了しました。神輿行列や荒馬、屋台巡行等に直接かかわった153人(事後調査)の村小っ子は、朝も昼も晩も、自分の町内や参加した町内のために、それぞれの役割をしっかりと務め、素晴らしさを発揮していました。その様子を垣間見、嬉しく、かつ頼もしく感じました。ご家庭や地域でのご指導、見守り等ありがとうございました。